

# News Release (11)



【平成28年8月4日(木)午後2時発表】

## ▼文化博物館夏の展示会を開催しています

企画展「平和の使者・青い目の人形」

特集展「新聞号外でふりかえるオリンピックの歴史」

### ▼概要

昨年戦後70年という節目の年をむかえましたが、今後も後世に戦争の悲惨さ平和の尊さを伝えていくために、今夏は日米友好の証として日本各地に贈られた「青い目の人形」を中心に、当時の写真や戦争資料などを紹介します。「青い目の人形」は、京都府・滋賀県内に12体が遺されていますが、その内9体を実物展示しています。

また、この夏、ブラジルのリオデジャネイロで夏季オリンピックが開催され、2020年には東京で2回目となるオリンピックが開催されます。これを記念し「新聞号外でふりかえるオリンピックの歴史」の夏季特集展を同時開催しています。

【開催期間】平成28年7月16日(土)～8月28日(日)

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【場 所】南丹市立文化博物館

【休 館 日】毎週月曜日

【入 館 料】大人300円、高・大学生200円、小・中学生100円

(20人以上の団体は2割引、南丹市内在住の小・中学生は無料)

### 【展示内容】

「青い目の人形」

- ・京都府・滋賀県内に遺されている11体の人形をそれぞれ紹介
- ・博物館収蔵資料の中から、軍服・千人針・当時の写真資料など

「新聞号外でふりかえるオリンピックの歴史」

- ・アムステルダム五輪で日本人が初の金メダル獲得した時の号外や戦後五輪の新聞・号外など約70点

### ▼この記事に関するお問い合わせ

南丹市立文化博物館 担当：井尻

(電話 0771-68-0081)